

(様式2)

令和2年〔自己評価報告書〕

学校番号	5	学校名	臨港中学校	校長名	黒川保之
------	---	-----	-------	-----	------

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他を愛し、素直で誠意ある人の育成</li> <li>・責任感強く、たくましく勇気ある人の育成</li> <li>・礼儀正しく、質実清楚な人の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を定着させるとともに、明るく生き生きとした学校づくり</li> <li>・教科指導を充実し、「生きる力」を育む学校づくり</li> <li>・道徳指導を充実し、お互いの個性を認め合う学校づくり</li> <li>・家庭や地域から信頼される学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につける中で、自分の良さをみつけ、生活を向上させる力を育む</li> <li>・互いの個性や特性を理解しあい、より良い人間関係を築いていく力を育む</li> <li>・学習指導を充実させる中で、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む</li> </ul>

評価項目	具体的な取組	実現状況及び課題	具体的な改善策	
1	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全、安心な教育環境の提供</li> <li>・教育環境の充実</li> <li>・学習環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き、約8割の生徒が「学校生活は楽しい」「臨港中に入学してよかった」と回答している。保護者についても、8割以上が「学校生活を楽しんでいる」との回答である。ただし、学年によりその評価の差がみられる。</li> <li>・年間を通して学校便り・学年便りを発行してきたが、生徒・保護者とも約7割が「学校や学級の情報を知らせている」との良好な回答であった。</li> <li>・保護者の、学校の施設・設備面での満足度が昨年度より上昇しているが、5割強にとどまっている。また、学校が事故防止のため点検など配慮しているとの回答は7割以上あり、現状を理解してもらっている。</li> <li>・コロナの影響で休日の授業参観、公開授業などの実施ができなかったが、毎月の学校公開日を導入した。今後もその取組等に5割以上の保護者が期待・評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般について肯定的な回答が多かったが、減少していることをふまえ、より自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持って行動できる生徒の育成を図りたい。</li> <li>・より開かれた学校にするため、今後もいろいろな手段で情報発信を図ってきたい。</li> <li>・校舎の設備点検や修繕を定期的に行う。また、老朽化した教材教具の更新に努め、教育環境をより整えていきたい。</li> <li>・授業公開・学校公開は本校にとって重要な意義があると考え、開催方法の工夫を図りながら、回数を維持していききたい。また学校公開日は継続して行っていきたい。</li> </ul>
2	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向けた授業改善の充実</li> <li>・基本的な学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9割近くの生徒が「授業はわかる」「しっかり聞き、考える」と回答している。わかりやすい授業の実践を心掛けてきた成果と思われる。先生が「意欲を持って授業に参加できるよう工夫している」の回答も昨年より向上し7割をこえている。ただし、生徒の回答で「学力が向上した」が5割程度「公平に評価されている」が6割程度となっている。家庭学習の習慣を身につけさせるとともに、学習評価について職員の研鑽をつむこと、周知させる取組が必要である。保護者についても「学力が向上した」の回答4割弱と低いことから、教育課程説明会での評価内容、資料、対象をより分かりやすく説明する必要がある。</li> <li>・授業力向上のため、毎年校内授業研究会を開催しているが、今年度は道徳指導主事を招いての研修会を3月に行った。コロナによる制約がとけたら、授業研究会の機会を増やし、すべての職員が授業方法の工夫や改善に取り組めるよう、今後も継続する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学習指導要領の実施にあたり、学習評価の研修や校内授業研究を実施し、内容の理解に努めていきたい。</li> <li>・教育課程説明会等を通して各教科の学習内容や評価の観点等を適切に伝え、妥当性・信頼性のある評価活動に努めていきたい。</li> <li>・保護者との共通理解を図り家庭学習の習慣化に努めたい。</li> <li>・支援教育をさらに充実させ、入り込み等の支援活動により基礎基本の定着を図るようにしていきたい。</li> <li>・教科指導についての職員の意識は高いものがあるので、今後もその意識を高揚させたい。</li> </ul>
3	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般を通じた豊かな心の育成</li> <li>・授業研究を通じた指導法の改善</li> <li>・授業時数の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、指導主事を招き道徳の授業研究会を開催した。全職員でグループ研究協議を行い、研修を深めることができた。</li> <li>・授業前の学習会や、学年会で道徳資料の確認を行い、特別の教科「道徳」の取組を行った。</li> <li>・保護者の意見として「人権意識を育てている」が例年と同じく6割を「社会のルールを教育している」の回答が7割をこえている。生徒の意見でも「日頃から社会のルールを話してくれる」の回答が7割を越えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の教科化にともない、人権尊重意識を高める工夫をしていきたい。特に道徳の時間の確保に努めたい。</li> <li>・「道徳」の教科書・資料の有効的な活用法を研修していきたい。</li> <li>・「いのちの授業」を今後も継続して実施し、人権尊重教育を推進していきたい。</li> <li>・毎月の学年会で道徳の内容検討、進め方を確認しながら実践していきたい。</li> <li>・人権尊重教育の全体計画を見直し、学校生活全般で人権意識を高めるような取り組みを実施していきたい。</li> </ul>
4	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の個性を尊重し、自立を促す指導の工夫</li> <li>・生徒会活動の充実と、各種行事の活性化</li> <li>・互いに信頼し、協力し合える生徒集団の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約8割の生徒が「学校行事は楽しく充実している」と回答しているが、保護者については7割にとどまった。おおむね各種行事に満足している状況である。行事を通して協力し合える生徒集団の育成を図り、充実した活動と評価を得ているが、コロナの関係で保護者の参加が制約されてしまったので保護者の評価が低くなってしまった。</li> <li>・「生徒会活動や委員会活動の充実」については、生徒全体としては7割が充実していると回答している。3学年の割合が8割となっており、最高学年として委員会の活動の大切さを意識し、積極的に取り組んでいる結果と考えられる。</li> <li>・生徒の8割近くが、「部活動が充実している」と回答しており、今後も活動の意義を意識して取り組む必要がある。</li> <li>・「環境美化に積極的に取り組んでいる」の回答が、昨年度は約6割であったが、本年度は7割を越えた。学習環境を整える意識が徐々に備わってきたと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は特別活動の校内授業研究を実施するが、総合教育センターからの指導・支援を受けていく。</li> <li>・生徒会本部や委員会活動を活発化し、できるだけ生徒が前面にたって活躍できる場面をより設定していきたい。</li> <li>・生徒一人一人の個性を尊重し自立を促すよう、学校行事、生徒会活動をさらに充実させていきたい。</li> <li>・各集団でリーダー育成のためリーダー研修会を実施していきたい。</li> <li>・自己肯定感を育むため、部活動を活性化する。同時に市の方針に準じて、部活動運営の改善を図っていく。</li> </ul>

5	生徒指導	<p>基本的な生活習慣の確立と生徒理解の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や服装などの基本的な生活習慣の確立に向けた指導の徹底</li> <li>・相談活動の充実と生徒理解の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回の教育相談期間を設けて、生徒の状況把握に努めた。6割の保護者が「子供のことをよく理解している」と回答している保護者が6割から7割に増加した。</li> <li>・「挨拶ができています」の回答は昨年同様生徒は7割と高くなっているが、保護者は6割と減少している。「時間」「服装」「清掃」の学校の取組目標の実現に向けて今後も継続性のある取組が求められている。</li> <li>・「気軽に先生に相談できる」の回答が5割に満たない数値である。教員も多忙化でいろいろな教育課題に取り組む中、なかなか寄り添った指導・支援が厳しい状況のみみられている。</li> <li>・他機関との連携を図り、情報交換などにより早期発見、対応、経過観察ができた。校外外での生徒指導事案件数も減少してきている。</li> <li>・「どの教師も同じ方針で生徒指導している」の保護者の回答が3割程度と低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通理解を図るため、年度初めに全職員により生徒指導方針を確認する。また、夏季研修でも生徒指導の情報交換、研修を実施する。</li> <li>・教育相談期間の設定は本校にとって重要な位置を占めている。今後も生徒がより多くの教員と気軽に相談できる環境づくりに努めたい。</li> <li>・今後の朝の打ち合わせ、職員会議、主任会で全職員共通に情報が共有できるようにするとともに、報告、連絡、相談を徹底したい。</li> <li>・他機関との連携は本校の状況から重要なポイントと思われる。今後も生徒指導担当を窓口に学年主任、総務教諭との連携を強化していきたい。</li> <li>・いじめ防止カドランをもとに、いじめ防止基本方針の見直しを行うとともに、次年度にじた策定をしていきたい。</li> <li>・部活動指導における健全な指導の在り方を顧問会が中心となり見つけなおす研修も必要と考える。体罰は絶対許されない指導体制を構築していく。</li> </ul>
6	特別支援教育	<p>特別支援教育の推進</p> <p>特別な支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに応えたいきめ細かな教育の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に対する職員の意識も高まっている。毎朝メールを使用しその日の支援者を確認するほか、毎月の職員会議の中で特別支援COからの情報提供や研修報告により全職員の共通認識が図れた。また、毎週の主任会にスクールカウンセラーも可能な限り出席し情報交換できた。</li> <li>・相談指導学級の運営がきめ細かくできた。</li> <li>・個別にケース会議なども実施し、問題を抱える生徒・家庭の理解に努めた。</li> <li>・不登校生徒が減少する傾向が見られたが、まだまだ多い状況にあり、今後も継続した取り組みが必要な状況にある。個々家庭環境も違い厳しい面のみみられたが、粘り強く対応してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常級に在籍しているものの、学習面や生活面で特別な支援、配慮が必要となる生徒が増加してきていると感じている。その対応について校内組織、支援体制、相談体制の整備を進め、組織的に取り組むと同時に関係他機関との連携により努めたい。</li> <li>・来年度は、スクールカウンセラーなどにより不登校支援などの校内職員研修を行い、理解を深めたい。</li> <li>・保護者への説明と相談活動が円滑に行えるよう努めたい。</li> <li>・特別支援教育推進委員会の取り組みの活性化を促すとともに、毎週1回の特別支援支援CO、生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラーによる情報交換会を今後も継続していきたい。</li> <li>・国際教室の設置に当たり、教職員の理解を深めると同時に一人一人の抱える課題に対して適切な課題を示し、支援を図ってきたい。</li> </ul>
7	健康安全管理	<p>生徒の健康、安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止に努める</p> <p>緊急対応マニュアルを作成し、危機管理意識を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用防止教室、熱中症予防講演会など実施した。警察や校医さんとの連携も深めることができています。また、性に関する講演会も保健福祉センターの協力で実施できた。また、給食開始に備えて食物アレルギー対応について緊急時の適切な処置の研修を実施した。</li> <li>・コロナによる休業や集団での活動の制約があり、避難訓練、防災訓練が予定通りの実施ができなかった。</li> <li>・校舎の老朽化に伴い修繕が必要となることを迅速に対応して安全確保に努めた。</li> <li>・空調と未整備だったトイレの改修が完了し、快適な環境の実現を図ることができた。定期的な安全点検活動を今後も実施し、学習環境の整備を教育委員会と連携して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校医さんとの連携を深め、連絡を密にして学校生活の健康安全管理に努めたい。</li> <li>・各箇所の管理責任を明確にして、点検活動を定期化し、安全管理に努めたい。</li> <li>・地震や津波に対する避難方法の指導、防災面での地域での中学生の役割などについても研修を深め、防災意識を高めていきたい。</li> <li>・他機関と連携し、講師を招いて各種の健康面での講演会を計画していきたい。</li> <li>・全職員が誰でもAEDの使用ができ、心肺蘇生法を習得するとともに、給食開始に伴うアレルギーの緊急対応ができるよう、研修を深めたい。</li> <li>・学校保健委員会での生徒の発表を生かし、研究協議を深め、生徒の健康面での状況把握に活用していきたい。</li> </ul>
8	保護者・地域との連携	<p>生徒の健全育成に向けた連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般にわたる支援とPTA会員相互の理解の伸張</li> <li>・地域教育会議との連携</li> <li>・小中連携教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響により、例年実施されているPTAの行事や地域教育会議主催の行事などを実施することができなかった。生徒にとって体験的な活動が減少したことは残念であった。</li> <li>・例年通りの学級懇談会を設定することができず、学校での生徒の状況などを保護者にお伝えする機会が少なかった。ただ本年度から毎月学校公開日を設定し、保護者の方に学校の状況を見ていただく機会となった。</li> <li>・地域教育会議の主催による夏の体験学習事業は本校にとって非常に有意義な取り組みであるが、本年度は実施することができなかった。大変貴重な体験の機会なので、今後ノウハウを伝えていくことが重要と捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校にとって地域教育会議との連携は重要な位置を占めている。今後も学校づくりを促進するため地域やPTAとの良い協力関係を深めていきたい。</li> <li>・ホームページの更新等、学校からの積極的な情報提供を心がけ、よりきめ細やかな内容の情報を発信できるよう努めたい。</li> <li>・小中連携をさらに推進し、児童生徒理解につなげたい。</li> <li>・地域やPTAの協力を得ながら計画的に関連諸行事に取り組んでいきたい。また、部活動単位での参加体制に加えて、他の生徒の意欲的な参加を募りたい。</li> </ul>

<p style="text-align: center;">学校関係者の評価</p> <p>・委員会活動の意義を学年が上がると感じているのは、日常の活動で活躍することができていることと考えられる。様々な活動でもこの傾向が見られるように期待したい。</p> <p>・コロナ禍により多くの制約が発生し、学校行事等の運営に苦労したと考えられる。その中で規模の縮小等があったにもかかわらず、体育祭や文化発表会などの学校行事を楽しめた様子が数字に表れていることを評価したい。</p> <p>・生活に対する指導の方針に関しては、今後も継続して情報交換等を行い、努力していくことを期待する。</p>	<p style="text-align: center;">今年度のまとめ・次年度へ向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域との十分な連携・協力をもとに、学校運営を推進してきたが、厳しい教員数の中で対応に不十分な面があった。</li> <li>・日々起こる生徒の問題に対応し、協力して解決へとつなげることができた。次年度も、いじめや体罰のない学校を目指し、「笑顔あふれる学校」の精神と「時間」「服装」「挨拶」+「掃除」の3+1を生徒に浸透するようしていきたい。</li> <li>・教育活動は生徒と教職員のふれあいに基づき、相互の信頼関係の上に進められていることを意識し、コミュニケーションを大切に、寄り添いながら支援・指導していきたい。</li> <li>・今まで通り学習指導と生徒指導を大切にいく。また、他校との関係や外部機関との一層の連携を図っていく必要がある。</li> <li>・学習面への期待の声アンケートから強く感じられる。「分かる授業」をキーワードとし、基礎学力が不足している生徒への支援・指導のあり方を探りつつ、分かる授業・楽しい授業づくりに取り組んでいきたい。特に少人数指導を実践し、きめ細やかな指導を行ってきたい。</li> <li>・支援教育の校内体制を充実させたい。国際教室の効果的な運用を図ってきたい。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の結果から見える基礎学力、自尊感情・規範意識の低さを認識し、その向上に努めていきたい。</li> <li>・給食指導の充実を図り、スムーズな運営をおこなってきたい。また、食育の推進を行いたい。</li> <li>・生徒の自主的な活動を促し、自信を持たせるようしていきたい。また、キャリア在り方生き方教育、人権尊重教育の推進を重点的に進めていきたい。</li> </ul>
---	---